

あなたがローカルで実現したいことは？ /



2015~2016の活動記録

はじまりのローカル /

コンパス

とちぎに行き来して
生まれたストーリー!

活動の詳細はWebのレポートへ

はじまりのローカル 検索 www.hajimari-local.jp www.facebook.com/hajimarilocal

主催 / 栃木県 実施団体 / NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク 栃木県宇都宮市宮園町8-2 松島ビル2F
TEL・FAX / 028-612-3341 MAIL / ysn_office@tochigi-ysn.net

はじまりのローカルコンパスとは？

これから地方（栃木県）に来る人の道しるべに。

人と人をつなぐ架け橋に。

地方経験がない人も安心して活動できる舞台を。

参加者と地域がともに新しいローカルストーリーをつむぎ、成長していくプロジェクトです。

コンセプトは「あなたにローカルを10%プラス」。

例えば、月30日のうち3日を栃木県で過ごしてみる。

例えば、月4万円のお小遣いのうち4千円で栃木県へ行ってみる。

そうすることで、栃木県での出会いやつながりが、あなたの生活にプラス10%の豊かさと彩りをもたらしてくれます。

都市部に住みながら、栃木県へ行き来することで、十人十色のローカルストーリーが生まれています。

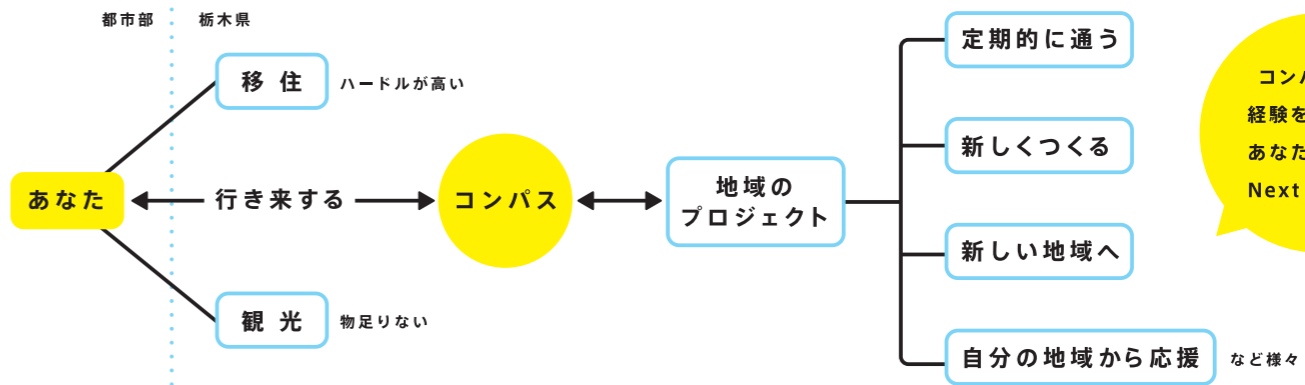
栃木県はこんなところ

東京から車でも電車でも約90分、新幹線となると東京～宇都宮間は49分、実はとても身近なところにあります。有名な世界遺産日光東照宮、御用邸がある那須などもあり自然も豊かで、いちごや宇都宮餃子、和牛やラーメンなどおいしい食べ物もたくさん。そんな栃木県には、ワクワクする地域プロジェクトや魅力的な人や繋がり、文化がたくさんあります。



あなたのローカルの作りかた

「都市部に住みながら、とちぎの地域プロジェクトに行き来する」



Introduction

この冊子は「はじまりのローカル コンパス」という栃木県で始まった新しい取り組みの記録です。コンパスでは、とちぎの魅力的な人たちが取り組んでいるワクワクするようなプロジェクトを入り口に、ローカルへと足を踏み入れます。今回訪れた先は、さとやま・まちなかと趣の異なる4つの地域。1泊2日のツアーをベースに、そこに住む人たちと、そこでしか出来ない体験と繋がりを提供しています。では、そんなコンパスのはじまりの記録をご覧ください。

今年度のコンパスがやったこと

- 1 とちぎに来てもらう前にこちらから行こう！
東京圏での説明会やイベント開催
- 2 まずはお試ししてみたい人もいます！
とちぎの人とまちを知る、1泊2日の気軽なローカル体験
ミツカルツアー-Short 1泊2日×2回 (那須町・鹿沼市)
- 3 ローカルの魅力にどっぷり浸る！
地域プロジェクトに関わる全4回の実践編
ミツカルツアー-Long 全4回 (栃木市・茂木町)

コンパスに関わる人たち / 地域ナビゲーター

1 鹿沼市 / 鹿沼宿旅館再生プロジェクト CICACU

\\ 辻井 まゆ子さん /



京都府出身。旅行途中、偶然にも鹿沼に出会い4日で移住を決め1ターン。去年よりCICACU始動。管理や県外と地元の人を巻き込んだイベント企画・運営など行う。

\\ 風間 教司さん /



(有)風間総合サービス代表取締役。珈琲焙煎士。1999年自宅を改装しcafe 撰茶庵をオープン以降、日光珈琲等のカフェと北欧服飾雑貨店なども展開している。

↑ 1泊2日のお試し ↓

2 那須町 / 那須ゲストハウス DOORz

\\ 田中 麻美さん /



薬剤師として愛知県の病院勤務を経験後、東日本大震災を機に両親が住む那須へ。ニューヨークへの1人旅をきっかけにゲストハウス開業を志し2013年、DOORzをオープン。

\\ 佐藤 達夫さん /



Web制作を専門として、写真・映像編集からチラシ・ポスター・看板・農作業まで、様々なクリエイティブワークをこなす、一家に一台あると得する便利屋さん。

栃木県

1

3

4

↓ 全4回のがっつり ↓

← 地方都市プロジェクト →

→ 農村・里山プロジェクト →

3 栃木市 / マチナカプロジェクト

\\ 大波 龍郷さん /



小山市生まれ、栃木高校出身。転勤族育ちゆえ、地域に根ざした暮らしをしたいと考え、栃木市の歴史ある街並みや暮らしに興味をもつ。

\\ 後藤 洋平さん /



栃木市出身。大学卒業後、東京でゼネコン設計部に勤務後、建物のデザインだけでなく「場所づくり」を目指し、宇都宮の設計不動産事務所に転職。

\\ 中村 純さん /



栃木市出身。大学卒業後、大手ハウスメーカー勤務後、いいものが売れるとは限らない現代に地域の魅力を売り歩く営業マンになろうと地元に戻る。

4 茂木町 / もてぎ里山らいふプロジェクト

\\ 野原 典彦さん /



2009年に脱サラし、新規就農者支援活動のネットワークを作り始め、震災をきっかけに「食」を見直す時代の到来を核心し、茂木町に移住。自然栽培、有機栽培青果の流通、販売の道へ。

\\ 中村 浩輔さん /



茂木町の棚田保全活動に参加し、今の里山の現況を知ったことをきっかけに、茂木町に古民家を買って里山らいふヘダティブ。茂木町の事を忘れられず、この町で働きはじめる。町の人たちへ恩返しするべく活動中。

コンパスに関わる人たち / ゲスト・コンパスの中の人

ゲスト 栃木市

\\ モリ ジュンヤさん /



ジャーナリスト、編集デザインファーム「inquire」代表。社会の編集と未来の探求をテーマに問い、聴き、書く日々。THE BRIDGE編集記者、マチノコト共同編集。HEAD研究会フロンティアTF副委員長。

\\ 工藤 瑞穂さん /



「soar」プロジェクト代表・編集長、「HaTiDORi」代表、NPO法人ミラツク研究員、ダンサー。音楽・ダンス・アート・フードと社会課題についての学びと対話の場を融合したチャリティイベントを多数開催。

ゲスト 茂木町

\\ 松浦 伸也さん /



大学在学中に福島県・鮫川村で里山保全ボランティアに取り組む。卒業後、地球緑化センターの「緑のふるさと協力隊」に参加。現在「すみだ青空市ヤッチャバ」を開催するなど幅広く活動中。

\\ 甲斐 良治さん /



1999年、「定年帰農」「田園住宅」「田園就職」「帰農時代」の「増刊現代農業帰農4部作」で農業ジャーナリスト賞受賞。NPO法人地球緑化センター理事、NPO法人中山間地域フォーラム理事、明治大学農学部客員教授。

コンパスの中の人

\\ 三村 友宏さん /



栃木県佐野市出身。栃木県庁入庁後、横浜市役所出向等を経て2012年より地域振興課に所属。コンパスの事業担当者。とちぎのナカとソトを有機的に結びつけていくのがお仕事。

\\ 古河 大輔さん /



栃木県小山市出身。NPO法人与ちぎユースサポーターズネットワーク理事。地域×若者をキーワードに、新たなコトづくりとヒト育てをしながら、地域を面白くすることが生業。コンパスのプロジェクトマネージャー。

\\ 井出 めぐみさん /



宮城県出身、宇都宮市在住。本職はアートディレクター・デザイナー。コンパスのデザインを担当。宇都宮でSOCO Projectなど行う。組立から実施までトータルでデザイン・ディレクションすることが生業。

とちぎの人たちと関わると、どんなおもしろいことができるの？

オープニングイベント「あなたのローカル見つけませんか？」

2015.10.4@SHIBAURA HOUSE(芝浦)

まずはこれからはじまるツアーを知ってもらおうと、東京のSHIBAURA HOUSEでオープニングイベントを開催。ローカルに興味がある方など多数参加してくださいました。ゲストにはマチノコトの江口晋太郎さんをお招きし、これからのローカルの可能性について

考えていきました。またとちぎでツアー参加者を受け入れる地域ナビゲーターの方々から、それぞれの取り組みや思いを話して頂きました。多くの人にとちぎへの関心を持ってもらうことができ、とても良いスタートとなりました。

Section1

アイスブレイクで緊張をほぐそう

会場に集まったみなさんはローカルに関心があるもの同士ではありませんが、面識のない方々がほとんど。まずはどんな人が来ているのか、そして緊張をほぐすために、会場にいる全員でのアイスブレイクを行いました。



Section3

プロジェクトごとに思いをPR

お話の後、地域ナビゲーターも交え、「ではとちぎはどうなっているのか?」「どうなっていくのが良いのか?」と掘り下げました。今回のツアーで関わるプロジェクトは、オリジナリティ溢れるとても良いところばかりです。



Section2

キースピーチ「ローカルからはじまる、これからのこと」

マチノコトの江口晋太郎さんに地域おこしの成功事例やそのための秘訣、地域活性化のコツなどをお話していただきました。実際に現場を体験している話はリアリティがあり、新しいアイデアを生む刺激になりました。



Section4

美味しいものを食べながらディープな交流タイム

良い雰囲気のまま交流会に。とちぎの美味しいもので舌鼓を打ちながら、同じ関心を持つもの同士、会話が弾みます。時間ギリギリまで話しが絶えず、名残惜しい感じで終了。話足りずに、近所の居酒屋で語らう人も。



ローカルからはじまる、これからのコト

ローカルを感じることで、それは「人」との新しい出会い

あらためて「ローカルとはなにか」と考えた時、豪華な建物ではなく、地域の名物おじさんや地域を盛り上げている若い世代の人たちの顔を思い浮かべます。つまり、ローカルとはそこにいる「人」そのものであり、その「人」との出会いによってローカルを体験できるのです。そんな「ローカル」は、遠いどこかではなく、

身の回りにも存在しています。ものごとをみる「解像度」を少し高くしてみると、そこにいる多様な人たちの存在に気づくことができます。ローカルコンパスは、そんな人とのつながりの大切さを気づかせてくれました。それぞれのまちに足を運び、そこで生活している「人」との出会いから、自身の豊かな暮らしをつくるヒントがあるかもしれません。



江口 晋太郎さん

福岡県出身、編集者、ジャーナリスト。TOKYObeta Ltd. 代表取締役。メディア、ジャーナリズム、情報社会の未来、ソーシャルイノベーション、参加型市民社会などをテーマに企画プロデュース、リサーチ、執筆活動などを行う。NPO法人マチノコト理事、NPO法人インビジブル理事として、都市や地域に関わる活動を行っている。著書に「日本のシビックエコノミー」(フィルムアート)「ICTことば辞典」(三省堂)ほか多数。

コンパスができるまで

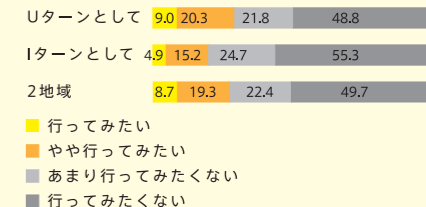
人口減少・少子高齢化が進む社会の中で、都市と地方、地方と地方同士でもっと自由に人が行き交い、その土地に関係する人々をより多く生み出していくことで、地域を次世代に繋いでいけるのではと考えました。大切にしたい5つのポイントから、ローカルと関わるのが多様なライフスタイルを実現するためのきっかけとなるよう試行錯誤を繰り返した末、2015年7月にコンパスは産声をあげました。

コンパスの5つのポイント

- ・ローカルと関わる新しい手段をつくる
- ・都市部に住む若者のしたい!を応援する
- ・とちぎだからできる方法を見つける
- ・他の地域と人の取り合いをしない
- ・ローカルの可能性を引き出す

U1ターンや2地域居住の希望の有無

2地域で活動したい人も3割ほどいる結果に



「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」より

ミツカルツアーShort「那須ゲストハウスDOORz」

2015.10.17~10.18

＼1日目／

集合 昼食&遊行茶屋 活動紹介&まちあるきツアー 芦野温泉へ 夕食&交流会 就寝

早速、芦野の味を



DOORzのメンバーと合流。お昼ご飯は芦野の「遊行茶屋」さんで、地元野菜たっぷりの美味しいカレーライスをいただきました。

芦野の人の声



遊行茶屋の女将、大平さんからお話。楽しそうにお話をするその姿は、キラキラしていて、とても素敵で魅力的な方でした。

芦野を探検



その後、地元のボランティアの方に芦野の歴史を教えてくださいながら町を歩き、今とは違う昔の景色を感じることができました。

地元の人とお話



隠居の間さんではロールケーキを食べながら、Uターンをし、先代から畳店やうなぎ料理店を受け継いでいる若い方々のお話を。

芦野の夜は



ツアーの舞台であるゲストハウスDOORzにて、地元の方々が持ち寄った夜ご飯や地酒などを飲みながらの楽しい交流会。

＼2日目／

起床&朝食 お散歩 暮らしのがっこう 稲作部 ワークショップ 出発 解散

贅沢な朝時間



那須認定ブランドの横岡米でおにぎりをつくり、幸せな朝時間から始まりました。都会では味わえない贅沢なひとときです。

里山の豊かさに触れ



稲に触れ、「これが美味しいお米になるのか!」という嬉しさもあり、とても新鮮で貴重な体験をすることができました。

田んぼで昼食



作業の後は、羽釜で炊いたほわほわの新米と芋煮も。作業した後で食べるとまた格別に。田舎や自然の良さを改めて実感できます。

都市部の方が地域の人と関わることで、地域の人たちが、自分たちの住む地域の良さを再確認することができました。



ミツカルツアーShort「鹿沼宿旅館再生プロジェクト CICACU」

2015.11.28~11.29

＼1日目／

集合 自己紹介&昼食 まちあるき&Uターン者訪問 CICACU見学 振り返り・明日の計画 夕食&交流会 就寝

地元の名物食堂から



オリエンテーションの後は昼食。近くの喜楽食堂の出前を。出前は鹿沼の文化でお客様が来たら必ずと言っていいほど出前を取るそう。

魔境、鹿沼へ溶け込む



まずは木のふるさと伝統工芸館へ。日光の社寺の材料を鹿沼で加工していたので、木工芸が盛んな町になったそうです。

ディープな路地裏に



鹿沼の穴場、根古屋路地へ。猫やアヒルなどもいて、カフェやレストラン、唐揚げ屋さんなどもある不思議な路地裏。

粋なおもてなし



一休みしていたら、鹿沼帯の職人さんがいらしてくれて、サプライズプレゼント! きびがら細工で作った十二支の置物を頂きました。

鹿沼の洗礼、大宴会



まち歩きでお腹が空いていたので前半は黙々と食。お腹が膨れてきた後半は鹿沼にまつわることを中心に、話に花が咲きました。

＼2日目／

起床&朝食 おでかけプラン作り グループ活動 プランの発表 解散

朝食は青空の下で



起きた後はまちの駅・新鹿沼宿の芝生広場へ。風間さん特製の朝食を芝生で。この日は快晴とても気持ちよい。

鹿沼の楽しみ方を



魔境・鹿沼を外からの目線で、これから鹿沼に来る人が楽しめるようにおでかけプランを考えました。途中で鹿沼の人に捕まり…

外から鹿沼を思う



感じたことを共有して振り返り。作ったおでかけプランをスタッフや女将に向けてプレゼン。どんどん鹿沼に詳しくなっています。

外からの目線でおもしろさを次々に発掘! ツアーを通して地域の人とより深い関わりや新しい繋がりが!



ミツカルツアー-Long 第1回オリエンテーション

2015.10.10@いいオフィス(上野)

Section1

ローカルの歩き方を学ぶ時間

Longのスタートは東京でオリエンテーションから。今回は「まちなかコース」と「さとやまコース」の2つのコースを準備。ローカルと関わるコツを学び、栃木県で活動する地域おこし協力隊の2人から話を聞いて、イメージを深めていきました。



Section2

自分のやりたいことをアウトプット

聞いたお話を元に、これから関わるフィールドを決定しました。そして、自分の思いをアウトプット。自分の興味のアンテナをどれだけ立てられるかがローカルを楽しむ秘訣です。さあ次回からフィールドワークが始まります。



ミツカルツアー-Longでは、地域ナビゲーターたちと一緒に、地域イベントをサポートしたり、実際に何かアクションを起こしたりと、今後ローカルと関わっていききっかけをつくるのが目的です。

第2回フィールドワーク

2015.11.14~11.15 マチナカプロジェクト\1日目/

集合 説明 昼食 まち歩きツアー 郊外で農業体験 金魚湯 夕食&交流会 就寝

風情ある栃木市のまち



あいにくの雨模様でしたがまちへ。大波さん案内の元、色々なお店を見学しました。実際に自分の足で歩くと視点が変わります。

まちなかから郊外へ



車で少し走るとのどかな田園地帯に。おじいさんの畑で農業をしている縫村さんの話を聞きながら、落花生の実をはずすお手伝いを。

金魚湯の2Fで宴会



栃木市のみなさんを交え、それぞれ栃木市に来たきっかけや活動していること、これからのことなど、話を聞くことができました。

2015.10.24~10.25 もてぎ里山らいふプロジェクト\1日目/

集合 棚田で活動・昼食 視察 UIターン者と交流 昭和ふるさと村 交流会 就寝

農村の醍醐味を



棚田で自然栽培の米を手刈りで収穫。稲刈りに慣れないうえ土がぬかるみ、脚が抜けなくなって大騒ぎ。無事に収穫して完了。

セルフビルドのお店



「心地よい暮らしをしたい」と思いUIターンした風間さんの食品加工所を見学。息子さん夫妻の人柄も温かくて、心がほっこり。

廃校をリノベした宿



茂木町のみなさんが持ち寄ってくれた、ここでしか食べられない贅沢な夕食。茂木に対する思いを聞き、ぐっと関係が深まりました。

\2日目/

集合 トークセッション 昼食 各チームのワーク チームごとにプランの発表 解散

なぜ栃木市に?



栃木市で活躍しているUIターンの方々をゲストに迎えてトークセッション。みんな真剣な表情。具体的にどう形にしているか?

アイデアをカタチに



小商い・ライフイベントの2チームに分かれて、次回何を行うかアイデアの出し合いを。両グループとも熱がムクムクと。

地元の人たちと仲を深めて友人・知人に伝えてもらうことがプロモーションになると実感しました!



\2日目/

朝食 歴史のレクチャー サイクリング 昼食 感想のシェア 解散

茂木の風土に触れる



地域の歴史や文化について、郷土研究家の矢野さんからレクチャーを。縄文時代の石器やタバコ産業で栄えた話などに惹き込まれました。

トンネルを抜けると



里山の空気を肌で感じるため、レンタサイクルでポタリング。鉄道が走る予定だったトンネル跡地を抜けると、色とりどりの里山の景色が。

移住ありきのプランを考えるのではなく都市部から茂木に行きたい!と思われることが必要と感じました。



第3回フィールドワーク

2015.12.12~12.13 マチナカプロジェクト \1日目/

集合 昼食 チームごとに活動 金魚湯 ナイトレクチャー 宴会 就寝

準備にも熱が



小商いチームは空きビルで1日限りのイベントを開くことに。案内ツアーと1day shopでワークショップ、販売をやることになりました。

らしさを生かして



ライブイベントチームはカップルの婚前記念写真撮影を、旧栃木市役所や横山郷土館などの栃木らしい場所で行いました。

スペシャルゲストが



夜はジャーナリストのモリさんと工藤さんがいらして、今、地域で起きている全国の事例や地域での情報発信についてお話いただきました。

今後は新しい風をいれるために地元出身の大学生との関係づくりも力を入れていきたいと思います!



2015.11.22~11.23 もてぎ里山らいふプロジェクト \1日目/

集合 マルシェのサポート 夕食・トークセッション 就寝

茂木の良さを伝える



土に根ざした暮らしを見つめ直すコンセプトの「森と里のつながるマルシェ」で農家や飲食店ブースで販売を体験。

夕食はキッチンカー



夕食はキッチンカーで運ばれてきました。まさに里山ならではの体験。良い素材のものを良い景色で仲間と食べるのは最高でした。

ゲストと共に考える



甲斐さん・松浦さんのお話から、これからの里山と都市の関係について考えました。熱心な質問が飛び交い、意識の高さを感じました。

茂木町の魅力を最大限に引き出し、来訪者のストレス解消になるような里山のオアシスを目指したいと思います。



\2日目/

集合 各プロジェクト実行 報告会 解散

小商いの実践



まちなかを巡るツアーと、ツアーで発見したもので作るスクラップブックや栃木市のお米を使った耳飾りの販売など行いました。

最高のライブイベント



結婚祝いとして贈る、リングピローの企画立案を行いました。もちろん素材は栃木市にゆかりのあるもの。使う和綿を収穫しにも。

\2日目/

起床・朝食 移住者を訪ねる これからの考える 解散

豪華な朝食



朝食は昨夜に引き続き、キッチンカーのuneさんの素敵な料理を頂きました。平飼い鶏の卵かけごはんは全員感動しました。

繋がりは続く



里山と都市を行き来する中で、自分の持っているスキルを活かして、両方をつなぐ情報発信や農に関する勉強会を行いたいとの声。

第4回報告会「あなたのローカル見つかりましたか？」

2016.2.6 @宇都宮大学UUプラザ(栃木県)

Section1

どんなローカルストーリーが生まれた?

会場にはコンパスの活動に興味のある大勢のとちぎの方々が集まる中、地域ナビゲーターと参加者による活動報告からスタート。それぞれの取り組みや感じたことが語られ、新しく出来た仲間と発見したことやツアーで生まれたストーリーが発表されました。



Section2

またここから新たなストーリーがはじまる

江口さんによるキースピーチに続いて、地域ナビゲーターのみなさんによるトークセッション。そしてツアー参加者ととちぎの方々と交えた交流会へ。会場に集まった全員がとちぎのローカルを大切に思っていることがわかって、素敵な時間を過ごせました。



参加者の声

実際にとちぎを体験していかがでしたか？



原澤 光太さん
教員・東京都在住

あの人がいるから、あのまちへ

泊まりに行けるほどの仲の良い友達が増えたような気持ちになりました。お店やスポットに魅力があるのはもちろんだけど、あの人に会いたいから行く!という気持ちになりました。また近いうちに行きます!こんなに素敵なおところに自分の友達を連れてきたくなかった!



小川 聡志さん
会社員・東京都在住

繋がりは作るモノと実感

栃木には全く縁のない人間だったが、気持ちは同じものを持っている方々とたくさんお話ができました。またみなさん、実際に地域に根ざして行動されている方々で本当に貴重な体験でした。まずはやってみて、悩んでみるのが大事だと思いました。



藤田 友里奈さん
会社員・東京都在住

人との縁で次のステップへ

まちなかに入って、そこに暮らす人と関わり、暮らす人の人柄や住人同士の関わり合いが、街に彩りを加えていることが知れたのが一番印象的でした。風情がある風景だけではとても想像がつかない、個性あふれる住人が多かったのも印象的です。今後の地方を考える上でも魅力的な場所でした。



中村 美紀さん
会社員・東京都在住

実際に体験することで見える

まちの内側から問題解決を行うことで、まちの活性化に尽力されている方達と出会うことができました。「若者がまちおこし」という響きだけで前途洋々かと想像していましたが、実際は所有者との信頼構築など大きな壁もあるようでローカルな問題にも触れることができたのも実際に体験できたからこそだと思います。

都市部に住みながらとちぎと関わる良さはありますか？



近藤 杏子さん
語学留学中・群馬県在住

行き来するから気づける

都市部とローカルを自分の目で、立場で、体で体感し比較検討し自分自身の見解や今後の方向性のヒントにもなりました。決して、便利な都市部だけが住みやすい場所ではないのだと確信することが出来ました。



加藤 剛さん
介護職員・神奈川県在住

ローカルで思い出せた

ローカルは人と人との関わりが密接で、相手のことを思いやっていると感じる事が良いと思いました。都会にいると忘れてしまう、そんな大切なことをローカルに関わることで思い出せる気がします。

参加してみて変化はありましたか？



小嶋 真以さん
Webデザイナー・神奈川県在住

ローカルは可能性がいっぱい

その場所でしかできない仕事(農業など)をやるしかないのではないかと感じていました。実際に茂木に住む方々のお話を伺ってみると、農業だけでなく、カフェ、革職人、士業など色々な職業の方がいて、ご自身のやりたいことをきちんと実現されているということに気がつきました。



佐山 遥香さん
大学生・栃木県在住

生活している人にも伝えたい

参加前は、栃木を観光客の方でいっぱいになりたい!もっと色んな人に栃木を知って欲しい!と思っていましたが、参加後の今では地元の人たちに、栃木の魅力を再発見してほしい!自分も栃木をもっと知りたい!という意識が変わりました。やはりそこで生活する人って重要です。

参加者の声

＼これからローカルに関わる人へ／



毛塚 春和さん
大学生・神奈川県在住

地域は人で出来ている

最初はプロジェクトをやるにあたって不安しかありませんでしたが、最後には皆さんととても仲良くなり、つながることもできました。そんな人とのつながりも、地域を好きな理由になるんだなと思いました。実践的に関われたので力を借りつつも自分も少しは役に立ったかなと自信をつけることもできました。



東海林 典子さん
事務職・東京都在住

動くときっかけが生まれる

とりあえず気軽にローカルなイベントに参加してみるとよいと思います。それがきっかけとなり、好きな場所、居心地がよいと思える場所がひとつ増えるかもしれません。勇気がいりますが飛び込んでしまえば最後には良かったと思えるはずです。ガイドブックには載っていないような場所の魅力も発見できます。



鈴木 宏美さん
会社員・埼玉県在住

大切なのは会いたい人がいること

ローカルとか都心部とか、あまり関係なくおもしろい場所、おもしろい人に出逢いたい！という気持ちが大切なかなと思いました。何よりもよかったのは地域の人と知り合いになれたこと。自分の知っている人が増えるのはとても心強く感じています。



田名部 茜さん
大学生・神奈川県在住

行って感じる事が大切

栃木に行ってみて、これこそもっと多くの人に知ってほしいと思ったことがあります。それは「気になる地域があったら、とりあえず行ってみる！」ということです。目的がなくても、行ってみたいと思ったら行ってみる。きっと、それ以降も大事にしたいと思える「つながり」ができると思います。

実際にまちに来て思うこと

＼栃木市に来てみて、感じたこと、思ったこと／



モリ ジュンヤさん

「自然さ」が何より魅力的でした

歴史を大切にされていて、街が好き。まるでそれが、当然であるかのように。そこに、この街の魅力を感じました。この柔らかな姿勢は、これからも大切にしてほしい。街の人たちが自然体であれば、訪れた側も力まずに街を楽しむことができますから。



工藤 瑞穂さん

大切に残されたものがあるまち

古い建物を大切に残した街並みが、何よりの魅力だと感じました。その魅力が伝わりきっていない気もするので、情報発信に力を入れると変化が起きそう。地域資源を活かし、人と人をつないで街の魅力を際立たせる取組みを生み出してほしいです♪

＼茂木町に来てみて、感じたこと、思ったこと／



甲斐 良治さん

「いまあるもの」とツアーを結ぶ

ツアー後、茂木を再訪、道の駅もてぎ、有機物リサイクルセンター美土里館、13地区のコミュニティビジネス、県内外の大学生との交流などを知りました。これら「いまあるもの」と結びつけば、コンパスツアーの魅力はさらに増すのではと思います。



松浦 伸也さん

より豊かな社会への萌芽がある！

意志のある有機農家と消費者とが緩やかにしなやかなつながりを築いていて、地域の豊かな未来を感じさせつつ、その未来をひとつひとつ実現している現在進行形の勢いがありました。より豊かな社会は、ここ茂木の新しい当たり前の中にあるのだと思います。

コンパスからはじまったこと

ラベルデザイン



森の扉さんのにんじんジュースのラベルを作成しました。光家有作さんのイラストを引き立てるように、シンプルでも楽しい雰囲気か伝わる文字をデザインしました。

by 小嶋 真以さん

Webサイトの制作



もてぎ里山らいふプロジェクトのWebサイトを制作中。コンパスのご縁で自分の持っているスキルを活かすことができました。里山らいふプロジェクトらしさを発信します。

by 小嶋 真以さん

蔵の街でロケーション撮影



風情ある栃木市のロケーションを使っての記念撮影。結婚を控えているふたりに、歴史ある建物や巴波川での着物姿の撮影を提案しました。

by 栃木市ライフイベントチーム

和綿のリングピロー



渡良瀬エコビレッジで育てられた和綿や栃木市にゆかりのある素材を活用したリングピローを手作りしました。(リングピロー:結婚式で新郎新婦の指輪を置いておくためのもの)

by 栃木市ライフイベントチーム

あなたを待っている「まち」と「ひと」

鹿沼宿旅館再生プロジェクトCICACU



廃業してしばらく空き家になっていた江戸時代創業の元旅館を、地域内外の様々な人たちと一緒に人の集う場として新たに再生。ゲストハウスの運営のほか、たくさんの人たちを巻き込んだイベントの開催や担い手の育成などを行っています。

<http://www.cicacu.jp/>

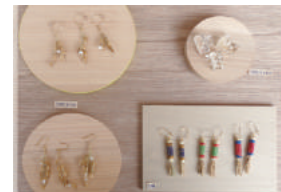
那須ゲストハウスDOORz



築50年の古民家をたくさんの仲間と一緒に改装したちいさなゲストハウスです。現在、ゲストハウスでの宿泊は休業中ですが、稲作部は開催を予定しています。ゆったりとした芦野時間を過ごすお手伝いをします。

<http://www.ghdoorz.com>

とちぎの素材の耳飾り



ツアーで出会った丹精込めて育てているお米やお野菜、長くまちを見てきた紙店の和紙などで、生産者さんや売り手さんの背景を含めた魅力に心を動かされ、耳飾りを製作しました。

by 藤田 友里奈さん

スクラップブック



栃木市のまちと人との思い出を共有頂けたら…と今回の旅のお土産になるよう栃木市の素材で栃木小江戸ブランドカラーのミニアルバムワークショップを行いました。

by 中村 美紀さん

マルシェに出店



栃木市のフィールドワークの時に開催した1day shopのお客さんに、ハンドメイドマルシェ*ピクニックLe pique-niqueの主催者さんがいらして、ご縁で出店しました。

by 中村 美紀さん 藤田 友里奈さん

ツアープランの提案



初めて鹿沼に来た人も楽しめるプランをHolidayで作成。誰でも見られるように公開しています。

<https://haveagood.holiday/plans/29024>
by 鹿沼ツアー参加者

マチナカプロジェクト



栃木市で歴史的建物の維持、遊休不動産の活用、地元産業の継承を目的に、栃木市らしさをアレンジした暮らしの提案と人材の誘致・発掘に取り組んでいます。また高校生の地域参加を後押ししています。

<http://mach-i-naka.com>

もてぎ里山らいふプロジェクト



引き継がれずに荒廃してしまった棚田を、そこに関わってきた人々の想いを繋ぎながら、たくさんの方と一緒に「里山のプラットフォーム」として再生させ、みんなが楽しく集える場をつくっています。

<http://motegi-satoyama.wix.com/carpenter-jp>

メディア掲載

【新聞】

- ・下野新聞(2015.9.30)
- ・東京新聞(2015.10.2)
- ・下野新聞(2015.11.15)
- ・日本経済新聞(2015.11.20)
- ・下野新聞(2015.11.26)
- ・朝日新聞(2016.2.7)

【ラジオ】

- ・CRT栃木放送
- ・TOKYO FM
- ・NHKラジオ第一放送

【Webメディア】

- ・マチノコト <http://machinokoto.net>
- ・ココロココ <http://cocolococo.jp>

【書籍・雑誌】

- ・日本のシビックエコノミー(フィルムアート社)
- ・まちアド~地域の魅力をPRするデザイン~(バイインターナショナル)
- ・Discover Japan 2016年4月号(徳出版)
- ・田舎暮らしの本 2016年5月号(宝島社)

とちぎの情報

「ペリーマッチとちぎ」

栃木県の人と暮らしの魅力を伝える総合サイト
<http://www.tochigi-iju.jp>

「とちぎ暮らしサポートセンター」ふるさと回帰支援センター内
栃木県内の移住定住の相談及び、情報提供。
<http://www.furusatokaiki.net>

「とちぎユアターンコミュニティ」Facebookグループ
とちぎに関わり、アクションを起こす人を増やすためのグループ
<https://www.facebook.com/groups/234718630051547/>

「えにしトラベル」

驚きと発見、美味しさと感動に出会える新しい地旅を提案する旅行会社
<https://enishi-travel.jp>

「したい」が「できる」に SOZO

地域と関わりたい、栃木県で何かしたい若者向けのプログラム紹介サイト
<http://sozo.tochigi-ysn.net/>

「HOTTAN」

とちぎで「何か」始めた人向けのコワーキングスペース
<http://socoarea.jp>